

平成 29 年度  
**私立大学等改革総合支援事業の  
 4タイプ全てに選定されました。**  
 <平成 28 年度に続き 2 年連続 3 度目>

この支援事業は文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、  
 下記の事業目的（①～④）で積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援するものです。

■ 目的別支援対象校の選定数 （全国 927 校中）

- |               |         |
|---------------|---------|
| ①教育の質的転換      | 約 350 校 |
| ②地域発展         | 約 160 校 |
| ③産業界や他大学等との連携 | 約 80 校  |
| ④グローバル化       | 約 80 校  |

■ 全国私立大学等（大学・短大）の複数項目選定状況

全国私立大学等（927 校）のうち約 700 校が選定の申請を行い、4 タイプ全ての選定を受ける  
 大学・短大は例年約 10 校（わずか 1%）程度です。

■ 短期大学部も 1 タイプ（教育の質的転換）に選定されました。

▶ 全選定の要因となった取組例

教育の質的転換

- ・教授法開発(FD)・職能開発(SD)の拡大
- ・アクティブ・ラーニング授業の拡大
- ・学生による授業評価結果の活用
- ・教育・研究活動情報の積極公表
- ・教育・研究予算の拡大 など



アクティブラーニング風景

産業界・他大学との連携

- ・産業界連携を推進するセンターの設置
- ・長期就業体験(インターンシップ)拡大
- ・カリキュラム編成での産業界連携
- ・企業との受託・共同研究・特許出願拡大
- ・他大学との共同就業力育成事業拡大など



VR システムでの福岡県警への協力

地域社会連携・貢献

- ・地域連携を推進するセンターの設置
- ・地域の課題解決への協力・貢献(子育て支援、環境活動、観光 PR など)
- ・カリキュラム編成での地元産業界連携
- ・公開講座・生涯学習事業の拡大 など



医介学連携講座「体操教室」への学生のボランティア参加

グローバル化

- ・外国人教職員の雇用拡大
- ・国際交流ラウンジの整備
- ・外国語による授業科目の設定
- ・外国語試験対策講座設定・学習サポート
- ・海外留学生ネットワーク形成 など



ネイティブスタッフによる English Cafe

掲示期間 H-29-223  
 11 月 30 日～12 月 18 日

この件のお問い合わせは広報課へ